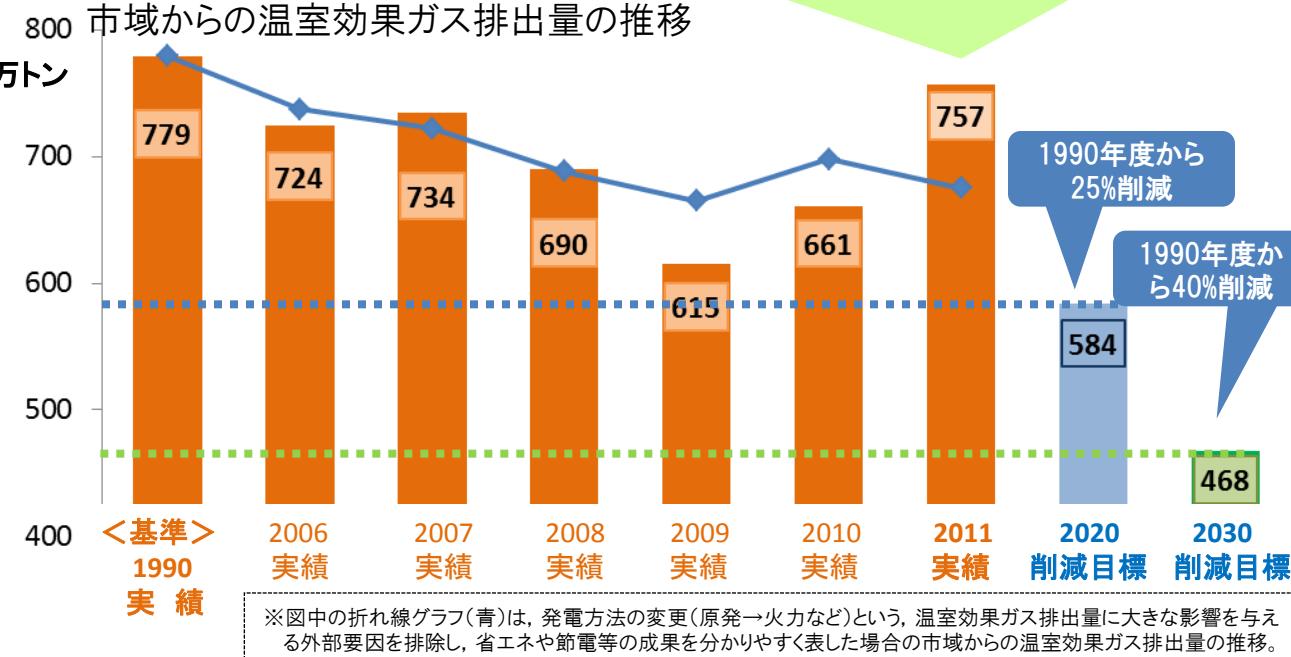


京都市の地球温暖化対策

— 平成25年度版 —

2011年度は温室効果ガス排出量が増加しています。
省エネ・節電に着実に取り組み、2020年度の目標を目指しましょう！！



2012～2013年度に京都市が取り組んだ地球温暖化対策(一例)

<市民協働発電制度>

市民の皆様等の出資により、市内3箇所の公共施設に太陽光発電パネルを設置し、「市民協働発電所」として2013年3月に発電を開始しました。

出資者の皆様へは、京北地域の地元産品や施設利用・物品購入に充てることができる利用券などが還元されます。



<こどもエコライフチャレンジ>

子どもの視点からライフスタイルを見直し、「環境に配慮した生活」(エコライフ)を実践していく取組として、家族とともに「こども版環境家計簿」を活用してエコライフを学び実践する「こどもエコライフチャレンジ推進事業」を全市立小学校で実施しています。

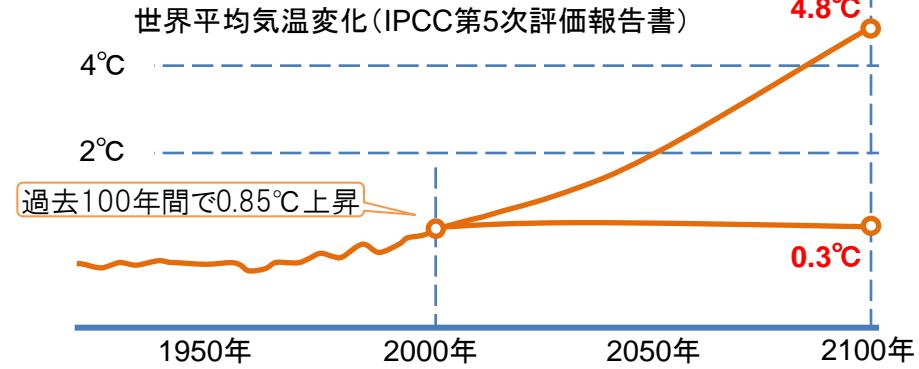


京都市の取組を手本としたマレーシア版こどもエコライフチャレンジのモデル実施に参加した児童たちによる表敬訪問

さらに詳しい情報は、**京都市の地球温暖化対策**

検索

地球が温暖化しています



世界の平均気温は、2100年頃には、**最大で4.8°C**、**最も抑えられた場合でも0.3°C上昇**すると予測されています。

4.8°Cとは、京都市と屋久島南端(鹿児島県)の気温差に相当します。
(過去10年の年平均気温。京都16.1°C, 屋久島南端20.4°C)

地球温暖化は様々な影響をもたらします

平成25年9月、地球温暖化の自然科学的根拠の最新知見が、新たな研究成果に基づきとりまとめられ、公表されています。

(IPCC第5次評価報告書第1作業部会報告書から抜粋)

現象及び変化傾向	1950年～現在	21世紀初頭	21世紀末
暑い日の増加・寒い日の減少	可能性が非常に高い	可能性が高い	ほぼ確実
継続的な高温・熱波の頻度や継続期間能増大	可能性が高い	評価せず	可能性が非常に高い
大雨の頻度、強度、降水量の増加	確信度が中程度	多くの陸域で可能性が高い	中緯度の大陸のほとんどと湿潤な熱帯域で可能性が非常に高い

地球温暖化の原因は、温室効果ガスの増加です

大気を暖める働きをする温室効果ガスはもともと地球に存在します。しかし、現在は人為的な排出量が自然の吸収量を大きく超えています。

国内の温室効果ガス排出量の9割以上が二酸化炭素です。二酸化炭素は、快適な生活や経済活動を支えるエネルギーである、石炭や石油などの化石燃料の利用時等に排出されます。

二酸化炭素発生の原因



電気の利用



ガス・灯油の利用



クルマの利用



プラスチックごみの焼却等

温暖化を止めるにはどうしたらいいの？

一緒に考えてみましょう！



エネルギーを減らす

なぜ？ 電気を作るときや、ガス・灯油・ガソリンなどを使うときに、二酸化炭素が出ます。だから、エネルギーを無駄なく、賢く使う生活を目指そう！

京都市内で、こんな取組が進んでいるヨ！

- 市民生活における省エネ・節電の推進
- 地域ぐるみのエコ活動の促進
- 環境にやさしい住宅の普及促進
- 省エネ・環境教育の推進



省エネルギー・節電の推進
(LED照明への交換)

小学校での省エネ・環境教育
(こどもエコライフチャレンジ)

エネルギーを生み出す

なぜ？ 電気を作るために石炭や石油などの化石燃料を燃やすときに、二酸化炭素が出ます。だから、太陽光など自然の力を賢く使ってエネルギーを作ろう！

京都市内で、こんな取組が進んでいるヨ！

- 市民生活や事業活動における再生可能エネルギー※利用設備の普及促進
- 地域で再生可能エネルギーを賢く使うためのしくみづくり

※利用後も比較的短時間で再生でき、資源が枯渇しないエネルギー



廃食用油の回収・バイオディーゼル燃料化

太陽光発電設備の導入促進

歩く暮らしを大切にする

なぜ？ クルマの燃料となるガソリン・軽油などは燃焼時に、二酸化炭素が出ます。だから、歩くことを楽しみ、公共交通を利用する暮らしを大切にしよう！

京都市内で、こんな取組が進んでいるヨ！

- 既存公共交通の利便性向上
- 歩行者優先のまちづくり
- 歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換
- エコカーの普及促進



公共交通利便性向上
(駅のバリアフリー化)

公共交通への乗り換え促進
(パークアンドライド 駐車場の開設)

ごみを減らす

なぜ？ 石油から作られるプラスチックは、ごみとして焼却されるときに二酸化炭素が出ます。また、生活用品の製造には、エネルギーが使われ、二酸化炭素排出が伴います。だから、ごみそのものを減らすことが大切です！

京都市内で、こんな取組が進んでいるヨ！

- そもそもごみを出さない取組
- ごみは可能な限りリサイクル
- ごみは安全に処理して最大限活用



レジ袋の削減(エコバックの活用)

イベントでのリユース食器の普及

環境保全と経済発展の両立

なぜ？ 京都が誇る、省エネなどに役立つ環境技術の研究開発・事業化等は、環境を保全しつつ経済を発展させます。温室効果ガス削減量を、経済的に評価し「見える化」するなどによる、事業活動の省エネも大切です。

京都市内で、こんな取組が進んでいるヨ！

- 産学公連携による環境産業の育成・振興、環境技術の開発
- 環境・エネルギー関連産業の事業拡大支援
- 事業活動における省エネ・節電の推進
- 環境価値の「見える化」

京都がもつ「知恵」を活かした
環境貢献型産業の創出



次世代型省エネ半導体
酸化ケイ素デバイスの量産

東寺五重塔LEDライトアップの
カーボン・オフセット



環境価値を活用した低炭素イベント

森を再生する

なぜ？ 健全な森林は、二酸化炭素を吸収する重要な働きをします。でも、市内には育成・保全の担い手不足などから不健全なところがあります。だから、みんなで、森を再生しよう！

京都市内で、こんな取組が進んでいるヨ！

- 京都市内産木材の活用促進
- 林業の振興
- 森林の適切な育成・保全
- 水と緑と風を生かしたまちづくり



苗木の植栽

ガードレール等への
市内産木材の活用促進